



2015年までの日本人ノーベル賞受賞者プロフィール

<物理学賞：11人>

受賞年	1949年	名前	湯川秀樹
受賞時年齢	42歳	生誕地	東京都東京市麻布区
出身高校	旧制京都一中（現・洛北高）：京都府		
出身大学	京都帝国大学理学部物理学科		
受賞理由	中間子の存在の予想		
受賞年	1965年	名前	朝永振一郎
受賞時年齢	59歳	生誕地	東京都東京市小石川区
出身高校	旧制京都一中（現・洛北高）：京都府		
出身大学	京都帝国大学理学部物理学科		
受賞理由	量子電気力学分野での基礎的研究		
受賞年	1973年	名前	江崎玲於奈
受賞時年齢	48歳	生誕地	大阪府中河内郡高井田村
出身高校	旧制同志社中（現・同志社高）：京都府		
出身大学	東京帝国大学理学部物理学科		
受賞理由	半導体におけるトンネル効果の実験的発見		
受賞年	2002年	名前	小柴昌俊
受賞時年齢	76歳	生誕地	愛知県豊橋市
出身高校	旧制横須賀中（現・横須賀高）：神奈川県		
出身大学	東京大学理学部物理学科		
受賞理由	天体物理学、特に宇宙のニュートリノの検出に対するパイオニア的貢献		
受賞年	2008年	名前	小林誠
受賞時年齢	64歳	生誕地	愛知県名古屋市長
出身高校	明和高：愛知県		
出身大学	名古屋大学理学部物理学科		
受賞理由	小林・益川理論とCP対称性の破れの起源の発見による素粒子物理学への貢献		
受賞年	2008年	名前	益川敏英
受賞時年齢	68歳	生誕地	愛知県名古屋市長
出身高校	向陽高：愛知県		
出身大学	名古屋大学理学部物理学科		
受賞理由	小林・益川理論とCP対称性の破れの起源の発見による素粒子物理学への貢献		
受賞年	2008年	名前	南部陽一郎※
受賞時年齢	87歳	生誕地	東京都東京市長
出身高校	旧制福井中（現・藤島高）：福井県		
出身大学	東京帝国大学理学部物理学科		
受賞理由	素粒子物理学における自発的対称性の破れの発見		
受賞年	2014年	名前	赤崎勇
受賞時年齢	84歳	生誕地	鹿児島県川辺郡知覧村
出身高校	旧制第二鹿児島中（現・甲南高）：鹿児島県		
出身大学	京都大学理学部化学科		
受賞理由	高照度で省電力の白色光源を可能にした青色発光ダイオードの発明		
受賞年	2014年	名前	天野浩
受賞時年齢	54歳	生誕地	静岡県浜松市長
出身高校	浜松西高：静岡県		
出身大学	名古屋大学工学部電子工学科		
受賞理由	高照度で省電力の白色光源を可能にした青色発光ダイオードの発明		
受賞年	2014年	名前	中村修二※
受賞時年齢	60歳	生誕地	愛媛県西宇和郡四ツ浜村
出身高校	大洲高：愛媛県		
出身大学	徳島大学工学部電子工学科		
受賞理由	高照度で省電力の白色光源を可能にした青色発光ダイオードの発明		
受賞年	2015年	名前	梶田隆章
受賞時年齢	56歳	生誕地	埼玉県東松山市
出身高校	川越高：埼玉県		
出身大学	埼玉大学理学部物理学科		
受賞理由	ニュートリノが質量を持つことを示すニュートリノ振動の発見		

※南部陽一郎と中村修二はアメリカ国籍です。

<化学賞：7人>

受賞年	1981年	名前	福井謙一
受賞時年齢	63歳	生誕地	奈良県生駒郡平城村
出身高校	旧制今宮中（現・今宮高）：大阪府		
出身大学	京都帝国大学工学部工業化学科		
受賞理由	化学反応過程の理論的研究		

受賞年	2000年	名前	白川英樹
受賞時年齢	64歳	生誕地	東京市長
出身高校	高山高：岐阜県		
出身大学	東京工業大学理工学部化学工学科		
受賞理由	導電性高分子の発見と発展		
受賞年	2001年	名前	野依良治
受賞時年齢	63歳	生誕地	兵庫県武庫郡精道村
出身高校	灘高：兵庫県		
出身大学	京都大学工学部工業化学科		
受賞理由	キラル触媒による不斉反応の研究		
受賞年	2002年	名前	田中耕一
受賞時年齢	43歳	生誕地	富山県富山市
出身高校	富山中部高：富山県		
出身大学	東北大学工学部電気工学科		
受賞理由	生体高分子の同定および構造解析のための手法の開発		
受賞年	2008年	名前	下村脩
受賞時年齢	80歳	生誕地	京都府福知山市
出身高校	旧制諫早中（現・諫早高）：長崎県		
出身大学	旧制長崎医科大学附属薬学専門部（現・長崎大）		
受賞理由	緑色蛍光タンパク質（GFP）の発見と生命科学への貢献		
受賞年	2010年	名前	根岸英一
受賞時年齢	75歳	生誕地	満州国新京
出身高校	湘南高：神奈川県		
出身大学	東京大学工学部応用化学科		
受賞理由	クロスカップリングの開発		
受賞年	2010年	名前	鈴木章
受賞時年齢	80歳	生誕地	北海道勇払郡鴻川村
出身高校	旧制苫小牧中（現・苫小牧東高）：北海道		
出身大学	北海道大学理学部化学科		
受賞理由	クロスカップリングの開発		

<生理学・医学賞：3人>

受賞年	1987年	名前	利根川進
受賞時年齢	48歳	生誕地	愛知県名古屋市長
出身高校	日比谷高：東京都		
出身大学	京都大学理学部化学科		
受賞理由	多様な抗体を生成する遺伝的原理の解明		
受賞年	2012年	名前	山中伸弥
受賞時年齢	48歳	生誕地	大阪府枚岡市長
出身高校	大阪教育大附属高：大阪府		
出身大学	神戸大学医学部医学科		
受賞理由	様々な細胞に成長できる能力を持つiPS細胞の作製		
受賞年	2015年	名前	大村智
受賞時年齢	80歳	生誕地	山梨県北巨摩郡神山村
出身高校	韮崎高：山梨県		
出身大学	山梨大学学芸学部自然科学科		
受賞理由	線虫の寄生によって引き起こされる感染症に対する新たな治療法に関する発見		

<文学賞：2人>

受賞年	1968年	名前	川端康成
受賞時年齢	69歳	生誕地	大阪府大阪市北区
出身高校	旧制茨木中（現・茨木高）：大阪府		
出身大学	東京帝国大学文学部国文科		
受賞理由	『伊豆の踊子』『雪国』など、日本人の心情の本質を描いた、非常に繊細な表現による叙述の卓越さに対して		
受賞年	1994年	名前	大江健三郎
受賞時年齢	59歳	生誕地	愛媛県喜多郡大瀬村
出身高校	松山東高：愛媛県		
出身大学	東京大学文学部仏文科		
受賞理由	『個人的な体験』『万延元年のフットボール』など、私的な言語を用いて現実と神話の混交する世界を創造し、見る者を当惑させるような絵図に描いた功績に対して		

<平和賞：1人>

受賞年	1974年	名前	佐藤栄作
受賞時年齢	73歳	生誕地	山口県熊毛郡田布施町
出身高校	旧制山口中（現・山口高）：山口県		
出身大学	東京帝国大学法学部法律学科（独法）		
受賞理由	非核三原則の提唱		

◎経済学賞受賞者はいません。